



## 【取組の目的、内容】

1. **全専門分野**の**全学生**を対象に、IoT活用社会における技術者養成を実現し、地域や産業界に輩出する。
2. 学生は、IoTデバイスの活用技術を身につけ、**卒業研究・専攻科特別研究**にて積極的に活用し**実践力**を磨く。
3. 地域の技術者に**IoT活用技術の再教育**を行い、釧路市IoT推進ラボを支援して、**地域の活性化に貢献**する。

## 【実施体制】



### 学内の実施体制

所属・職名	役割
副校長(教務担当)	全体統括 /教育担当(本科)
副校長(専攻科・研究担当)	教育担当(専攻科) /研究担当
情報処理センター長	ICT担当
地域共同テクノセンター長	地域連携

試験環境の提供  
実験データの提供/講師派遣

### 学外の協力機関の役割

釧路工業技術センター	IoT教育コーディネーターの派遣 IoT産業分野における応用演習の企画 事業評価および合同成果報告書の作成
釧路市IoT推進ラボ	特別演習および基礎演習の講師派遣 IoTネットワークに関する技術支援 リモートセンサーの Protokol 策定と 通信用プログラムの共同開発

共同研究  
技術支援/講師派遣

### 外部評価委員会

## 【工程表】

- 2017/07- IoT専用ネットワークの敷設/教育プログラムの策定.  
2017/12 センサー等調達.工業技術センターとの演習内容の検討.
- 2017/10- 学内へのリモートセンサーの設置及びIoT導入マニュアル  
2018/03 の作成及びデータ集積・活用・展開の試行.  
IoT教材の開発.
- 2018/01- 教育プログラム改善検討及び工業技術センターとの共同  
2018/03 演習の試行.外部評価委員会による評価.
- 2018/04- 初級プログラム教育を開始。並行して卒業研究・専攻  
2019/03 科特別研究での試行的なIoT活用の実践.企業との共同  
研究の模索.地域技術者向け「公開講座」の実施.  
教育プログラムの検証.

## 【成果指標】

- 初級プログラム（平成30年度：1年生160名）、中級プログラム（平成31年度：4年生160名）、上級プログラム（平成32年度：5年生のうち、IoT技術を活用可能な卒業研究に取り組む学生）の各段階において、必要な技術を身に付けた者をプログラム修了認定【各段階の対象学生全員（100%）】
- 企業や市民を対象にIoT活用に係る公開講座を新たに開講【受講者数：平成28年度：0名→平成30年度：30名】

## 【第4期中期目標期間への展開（見込み）】

- 平成32年度に完成する創造工学科をより高度化し、「スマートメカニクスコース」「エレクトロニクスコース」をIoT/M2M技術をより深く取り込む教育内容に再構築する。
- 既存技術を組み合わせ、ニーズに応じたIoTデバイスの設計・実装を重視し、高専の特色を生かした実践的技術者育成を目指し、AIやビッグデータの活用をより身近なものにすることで、真の第4次産業革命を推進する。